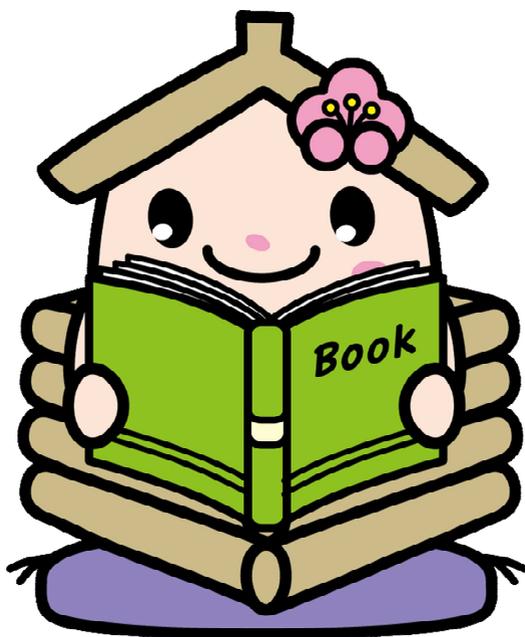


中学生におすすめの本

2019

ブックセレクション



酒々井町立図書館

『給食アンサンブル』 ティ913キ

如月かずさ／著 光村図書出版

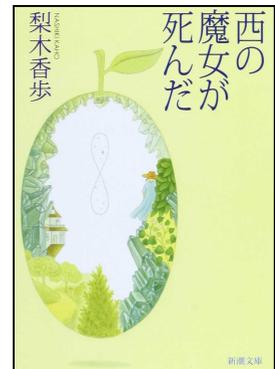
転校先の中学になじまず周りとの距離を置こうとする美貴、子どもっぽいのがコンプレックスの桃、親友の姉にひそかに想いをよせる満、悩める人気者の雅人、孤独な優等生の清野、面倒見が良くて給食が大好きな梢。悩みを抱える六人の中学生の揺れる心が、給食をきっかけに変わっていきます。一人ずつ順に焦点を当てて語られる、心温まる短編集です。



『西の魔女が死んだ』 ティ913ナ

梨木香歩／著 新潮社

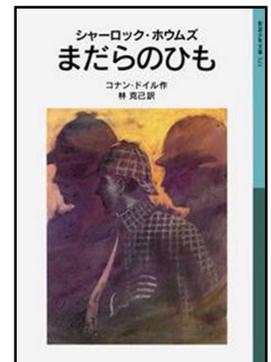
中学校へ進んでまもなく不登校となったまいは、初夏のひと月あまりを西の魔女こと、母方の大好きなおばあちゃんのもとで過ごします。まいは西の魔女からその手ほどきを受けますが、魔女修行の肝心かなめは〈何でも自分で決めること〉でした。喜びも希望も幸せも…。



『シャーロック・ホームズ まだらのひも』 ティ933ド

コナン・ドイル／作 岩波書店

物語はある日の早朝、若い女性がホームズのもとを訪れ、事件の究明を依頼するところから始まります。彼女の姉は結婚直前に寝室で謎の死を遂げました。まだらのひもという言葉を残して。その死から2年後、彼女は死が迫ってくる恐怖を覚えます。姉も聞いた夜中の口笛が聞こえてきたからです。ホームズは彼女を救えるのでしょうか。探偵小説の名作。



『「空気」を読んでも従わない 生き苦しさからラクになる』

鴻上尚史／著 岩波書店 ティ 159 コ

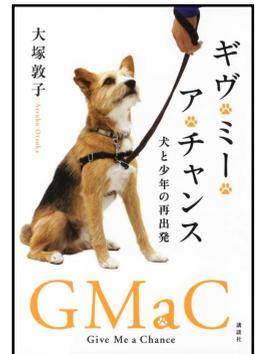
どうしてこんなに周りの目が気になるの？ どうしてこんなに先輩に従わないといけないの？ どうしてこんなにラインやメールが気になるの…？ それはあなたが弱いからではなく、すべて理由があります。この本には、あなたの生き苦しさの正体と、その戦い方が書かれています。



『ギヴ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発』

大塚敦子／著 講談社 児 327 才

2014年7月、八街少年院でGMaC（ジーマック）と呼ばれるプログラムがスタートしました。かつて非行に走った少年達が動物愛護センターなどで保護された保護犬を訓練します。犬との温かい交流を通じて、少年達が成長していく過程をつづったノンフィクションです。



『スピニー通りの秘密の絵』 ティ 933 フ

L.M.フィッツジェラルド／著 あすなろ書房

13歳の少女セオは、ニューヨークのスピニー通り十八番地で画家の祖父、母親と3人で暮らしていました。ある日、祖父が「卵の下を探せ」という謎の言葉を遺して亡くなります。困窮した生活から抜け出すため、セオはセブ女子ボーティとともに秘密の絵の鑑定に挑みます。美術と歴史が重なり合う重厚なミステリー。



『精霊の守り人』 ティ913ウ

上橋菜穂子／作 偕成社

偶然、新ヨゴ皇国の皇子チャグムの命を救った女用心棒・バルサ。命を狙われているチャグムを守るよう依頼を受けますが、チャグムは異世界の水の精霊の卵を宿した〈精霊の守り人〉でした。父である帝、そして異世界の魔物ラルンガから追われる二人の運命は…。異界と人の世界が交錯する『守り人』シリーズ第1巻。



『星の林に月の船 声で楽しむ和歌・俳句』

大岡信／編 岩波書店 ティ911ホ

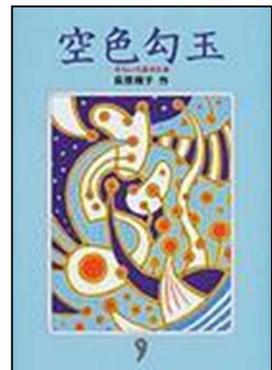
万葉集から昭和初期までの和歌、俳句が194作載っています。意味よりも、まずは七五調のリズム、ことばの響きを楽しみましょう。日本語の奥深さを実感できるはずです。短い鑑賞の手引きもあります。



『空色勾玉』 ティ913オ

荻原規子／作 徳間書店

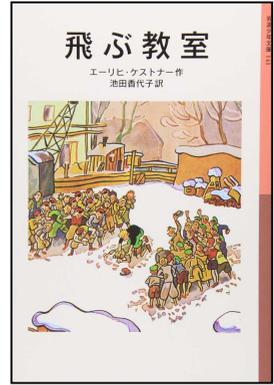
村娘として平穏な日々を送っていた狭也はある祭りの晩に鬼から闇の氏族の巫女姫だと告げられ、水の乙女の勾玉を手渡されます。闇の氏族でありながら、輝の宮に憧れと救いを求める狭也。しかしそこで待っていた絶望。そして稚羽矢との運命の出会い。神々が地上を歩いていた古代の日本豊葦原を舞台に、水の乙女狭也と風の若子稚羽矢の冒険、成長、恋を描く壮大なファンタジー。



『飛ぶ教室』 児943ケ

エーリヒ・ケストナー／作 岩波書店

生徒がともに生活するドイツの寄宿学校。ボクサー志望のマッツ、貧しくも秀才のマルティン、臆病なウーリ、詩人ジョニー、クールなセバスティアーンは、生い立ちも性格も違いますが、正義と友情で一つに結ばれています。悩みや悲しみを抱えながらも、正義先生など魅力的な大人たちに見守られながら成長していきます。



『羊の告解』 ティ913イ

いとうみく／著 静山社

父親が殺人容疑で逮捕され、突然「加害者家族」となった中学3年生の涼平。友達からも孤立し、自分も父親と同じ加害者ではないのかと苦悩します。葛藤の中、ゆるすことの難しさ、尊さを知り、懸命に前に進もうとする少年の姿が描かれています。



『死体が教えてくれたこと』 ティ498ウ

上野正彦／著 河出書房新社

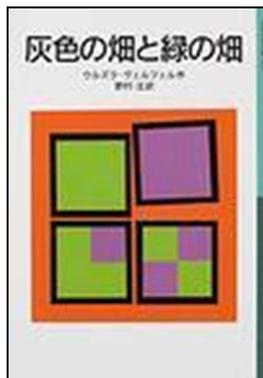
「監察医」という仕事を知っていますか？監察医は、生きていない人ではなく、死んだ人を診るお医者さんです。人が死ぬとはどういうことなのか。生きるとは、そして自分とは何か。監察医として2万体の死体と語り合った著者が「死体が教えてくれたこと」をやさしく教えてくれます。



『灰色の畑と緑の畑』 ティ 943 ベ

ウルズラ・ヴェルフェル／作 岩波書店

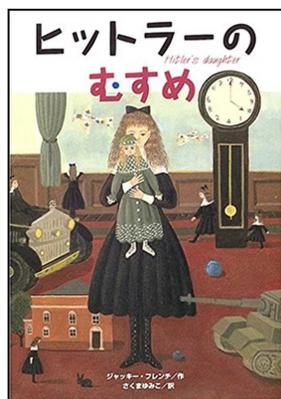
ここに書かれている14の物語は本当の話であり、あまり愉快なものではないでしょう。戦争、貧富の差、両親の不和、老人の孤独。話に結末はありません。読んだ人がめいめい自分で出さなければならぬのです。



『ヒットラーのむすめ』 規 933 フ

ジャッキー・フレンチ／作 鈴木出版

ある雨の日、想像でお話を語る「お話ゲーム」としてアンナが語ったのは、ヒットラーのむすめ“ハイジ”の物語でした。ほんとうにいたかどうかわからない謎の少女の話に、マークは引き込まれていきます。もし自分がヒットラーの子どもだったら、もし自分のお父さんが極悪人だったら…。身近な問題として戦争を考える一冊です。



『クローディアの秘密』 ティ 933 カ

E.L.カニグズバーグ／作 岩波書店

もうすぐ12歳になるクローディアは、毎日のテレビチャンネル争いや不公平に嫌気がさし、弟のジェイミーを誘って家出をします。行き先はメトロポリタン美術館。二人はミケランジェロ作とされる天使像に引きつけられ、その謎を解こうとするのですが…。様々な過程の中で大人へと一歩成長する少女の物語。



『クラバート』 呪943ブ

オトフリート=プロイスラー／作 偕成社

少年クラバートは不思議な夢に導かれて水車場に行き、親方から魔法を習います。そして3年後、クラバートは自由と友情と少女への愛をかけて、親方と対決します。クラバートの運命は？

ドイツに伝わる〈クラバート伝説〉をもとにした、プロイスラー文学の頂点ともいえる物語です。

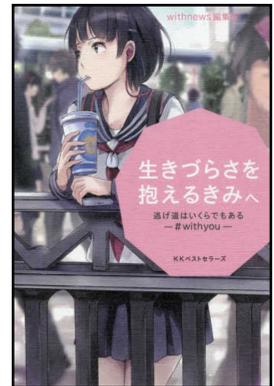


『生きづらさを抱えるきみへ』 371イ

Withnews 編集部／著 ベストセラーズ

今いる場所がしんどいな。なんで自分はこうなんだ？どうしてこんなことされるんだ？みんな本当に楽しいの？

この本には、著名人の経験談とたくさんの「逃げ道」が紹介されています。いつでも逃げ出せることを知ってください。生きづらさを抱える君へ一番に届けたい一冊。



『ネコと読む「方丈記」に学ぶ“人生を受けとめる力”』

高寺あずま／文 文響社 914カ

「徒然草」「枕草子」とならば日本三大随筆のひとつ「方丈記」。その無常の世界を、少女と物知りなネコの会話を通してイラストと共に解説します。「方丈記」の著者・鴨長明が伝えたかったことを想像しながら、現代の感覚に添ってわかりやすく語っています。語り継がれた言葉の中に、心がすっきりするヒントが見つかるかもしれません。

